

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 7 月 4 日(2024.7.4)

【公開番号】特開 2024-24756(P2024-24756A)
【公開日】令和 6 年 2 月 26 日(2024.2.26)
【年通号数】公開公報(特許)2024-035
【出願番号】特願 2022-127601(P2022-127601)
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 A

A 6 3 F 5/04 6 1 1 Z

A 6 3 F 5/04 6 2 0

A 6 3 F 5/04 6 5 0

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 6 月 26 日(2024.6.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の制御に関わる所定の電子部品が実装された制御基板と、

前記制御基板を収容する透明な基板ケースと、を備え、

前記基板ケースは、

前記所定の電子部品に対向する箇所が前記所定の電子部品側に凹となる面落ち部と、

前記面落ち部に連続し、前記所定の電子部品の第 1 の側面と第 2 の側面とのそれぞれに対向する位置に、前記面落ち部の底部に平行な断面形状がコ字状に形成された突出片と、を有し、

30

前記面落ち部の底部の輪郭は、前記所定の電子部品の上面の輪郭よりも大きく、

前記面落ち部は、底部から離れるにつれて開口が広がるように形成されている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0002】

従来から制御基板へ不正にアクセスされないように、セキュリティを高めた基板ケースを備える遊技機が知られている(例えば、特許文献 1 参照)。このような基板ケースは、壊さない限り制御用 R O M を交換できないように構成されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

50

【特許文献 1】特開 2 0 0 8 - 5 5 1 1 2 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

ところで、このような基板ケースは、制御基板へのアクセスのみならず、制御基板に実装された遊技の制御を行う電子部品（例えば、CPU（Central Processing Unit）チップ）に対するセキュリティを高めることが求められている。

10

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、このような点に鑑みてなされたものであり、遊技の制御を行う制御部品に対する不正を防止すると共に、その制御部品に不正が行われたことを早期に発見することが可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 6】

20

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

遊技の制御に関わる所定の電子部品（例えば、CPUチップ 6 1 1）が実装された制御基板（例えば、主制御基板 6 1 0）と、

前記制御基板を収容する透明な基板ケース（例えば、主基板ケース 6 2 0）と、を備え、前記基板ケースは、

前記所定の電子部品に対向する箇所が前記所定の電子部品側に凹となる面落ち部（例えば、面落ち部 6 4 3）と、

30

前記面落ち部に連続し、前記所定の電子部品の第 1 の側面と第 2 の側面とのそれぞれに対向する位置に、前記面落ち部の底部（例えば、底部 6 4 3 a）に平行な断面形状がコ字状に形成された突出片（例えば、突出片 6 6 9）と、を有し、

前記面落ち部の底部の輪郭は、前記所定の電子部品の上面の輪郭よりも大きく、

前記面落ち部は、底部から離れるにつれて開口が広がるように形成されている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

上記構成によれば、遊技の制御に関わる所定の電子部品に対する不正を防止すると共に、所定の電子部品に不正が行われたことを早期に発見することができる。

40